

国立清水海技短大同窓会組織

「清高会」会報をネット配信

海上からでも閲覧可能に

船員養成機関の学校の同窓会が会報の発行をネット公開にすると、卒業生の船上からの閲覧が可能になります。卒業生と在校生、そして学校関係者との繋がりの強化は、業界の内状把握や業界発展への応援にも繋がります。ネット公開によって一般の方も閲覧できるため、学校案内のような利用も期待できます。

こちらの会報は10頁ありますが、わずか2MBです。今後、船員向けの情報発信が増えてほしいと願います。

紙面のデザインでは当会の海の上文庫チームが協力しました。資料として業界新聞の記事を転載しご報告いたします。
(全日本内航船員の会 事務局)

内航海運新聞(令和5年12月11日号)の記事を紹介いたします。以下転載

清水海技短大同窓会組織

「清高会」会報をネット配信

～ 海上からでも閲覧可能に ～

国立清水海上技術短期大学校の同窓会組織である「清高会(せいこうかい)」は、これまで紙媒体で発行していた会報をPDFファイルでのインターネット配信に切り替えた。

清高会は、古くは前身の高浜校(愛知県)から現在の清水校(静岡県)まで続く長い歴史があり、会員数も4,500人を超える。そのため、「毎年の会報郵送料だけでも大変な支出になっていた」(清高会の松見準副会長)。

そうした中、宮野将之校長からの提案もあり、インターネットでの配信に向けた取り組みに着手。セキュリティの関係から清高会独自のドメインを取得し、このほどネットでの配信を開始した。

初のネット配信版となる清高会会報24号は、◇会長挨拶◇校長挨拶(新練習船「か



公開中の清高会会報 PDF 版

ざはや」の紹介)◇在校生の声◇新任教官の紹介◇会員からの投稿◇同期会開催報告一
で構成。同校への親しみを感じさせる記事、写真がふんだんに盛り込まれており、レ
イアウトにも工夫が凝らされている。

会員には会報 URL の QR コードが印刷されたハガキを郵送。今後はどこからでも閲
覧できるようになる。



会報のデザインを担当した松見副会長は、「同窓会と学校関係者
は、共に入学志願者を増やしていく目的を共有している。学校関係
者、卒業生のほかにも、興味のある方には広く会報を目にしてい
ただき、『海の学校』と『島国日本』を身近に感じていただきたいと願っ
ている」と語っている。

清高会会報は専用ホームページ (<https://www.seikokai.net/kaihou/seikokai2023>)
または上記 QR コードから閲覧可能。(了
